

令和 7 年度事業

消防多目的自動車購入（明許）仕様書

笛吹市消防本部

第1 総則

この仕様書は、笛吹市消防本部（以下「当消防本部」という）が令和7年度に購入する多目的自動車（軽ワンボックス車）について必要な事項を定める。

第2 規格

本車両は、本仕様書に定めるところによるほか、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）、道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）及びその他関係法令の規格に適合し、かつ、緊急自動車として承認が得られるものであること。

第3 仕様打合せ

- 1 受注者は、契約締結後仕様内容等について当本部と打合せを行い、速やかにその打合せ内容の確認書を提出すること。
- 2 打合せの際に、シャシ請負者は本車両の製作図（外観図・装備品等取付図）を提出すること。
- 3 シャシの改造は、艤装メーカーと十分に打合せを行うこと。

第4 提出書類

- 1 受注者は、仕様打合せ後30日以内に次に掲げる書類を当消防本部へ提出すること。
 - （1）議事録（写）（2部）
 - （2）製作工程表（2部）
 - （3）艤装外観四面図（寸法記載）（2部）
 - （4）その他当本部が指示するもの（必要部数）
- 2 受注者は、納車時に次に掲げる完成図書一式を作成し、当消防本部へ提出すること。
 - （1）製本（2部提出）
 - ア 完成図
 - イ 車検証の写し
 - ウ 主要諸元表
 - エ 電気系統図（ぎ装関係）
 - オ 外観4面カラー写真
 - カ リサイクル券の写し
 - キ 自動車損害賠償責任保険証明証の写し
 - ク 積載品一覧表
 - ケ その他当消防本部が指示するもの
 - （2）電子媒体（2部提出）

第5 検査、受領及び保障等

- 1 検査申請

検査の申請（中間検査及び完成検査）は、事前に検査日及び検査場所を明記した書面で当消防本部に申請すること。
- 2 中間検査

中間検査は、取付け品等を取付ける直前に実施するものとする。
- 3 完成検査

完成検査は、当消防本部検査員及び納入者が立会いのうえ実施する。

4 保証

- (1) 設計、製作、材質等の不良により起因する不都合の発生については、受注者において無償により是正修復すること。
- (2) 保証期間は納車後1年とする。
- (3) 製作会社等が別に定めた保証期間が1年以上の場合はそれを適用する。
- (4) 重大な欠陥等が発見された場合は、この期間を過ぎても保証の対象とし、保証期間後であっても設計・製作方法及び材質不良等に起因すると考えられる問題が生じた場合は、受注者が無償にて修復すること。
- (5) 受注者は、車両納入後の1か月点検、6か月点検において、各部の点検及びエンジンオイル、オイルエレメントの交換を実施し、これに係る費用を全て負担し、点検及び修理等を当消防本部の求めに応じて速やかに対応すること。

5 技術指導

納入者は当消防本部が別に指示するとおり、本車両及び艀装装備品等の取扱いについて技術指導を行うこと。また、操作及びメンテナンスに関して疑義が生じた場合は、速やかに回答すること。

第6 納入

1 納入場所

笛吹市石和町下平井204番地
笛吹市消防本部

2 納入期限

納入期限は令和8年8月31日（月）までとするが、可能な限り早め、取扱説明等終了し運用開始できること。

第7 登録手続き等

自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料、リサイクル料、検査登録費用は当消防本部の負担とし、これ以外車両の新規登録等に関する経費については受注者がする。

また、上記当消防本部負担の経費については、納入後受注者へ支払うこととする。

第8 車両

主要諸元は、次のとおりとする。

1 購入台数

1台

2 車両タイプ

軽自動車、ワンボックス ハイルーフ リアシート分割式

3 駆動方式

四輪駆動、オートマチック方式

4 仕様燃料

ガソリン

5 定員

4名

6 室内最大スペース長

2,300mm以上。

7 取付け品、取付け装置

別表1のとおり

8 積載品・付属品

別表2のとおり

第9 車体の構造及び艤装

1 車体

(1) 車両は、堅牢にして長期の使用に十分耐え得るものであり、強度を損なうことなく軽量化を図るとともに使用取扱い上の安全性及び操作性、点検、修理等の維持管理を十分考慮したものとすること。

(2) 使用する材料は、すべて新製品及び日本産業規格等に基づいて精選された耐久性に富むものを使用すること。

(3) 悪路での走破性を確保するため、35mm程度リフトアップすること。

2 艤装関係

(1) 車両前部に消防章を取り付けること。

(2) ルーフ前方にLEDユニット搭載散光式警光灯一式及び車両前部後部にLED補助警光灯を取り付け、警光灯のスイッチは電子サイレンアンプに組み込むこと。また、LEDユニット搭載散光式警光灯とLED補助警告灯が連動して作動する仕様とすること。

(3) 前席付近に電子サイレンアンプを設置すること。

(4) 電子サイレンアンプに広報メッセージを登録すること。チャンネル数等の内容については、別途打合せすること。

(5) 車両左右側面にLED作業灯を取付けること。(詳細は別途協議)

(6) リアハッチ上部室内側に作業灯を取り付けること。(詳細は別途協議)

(7) ルーフキャリアを取付けること。

(8) 室内にルーフコンソール、クロスバー(固定式フロント及びリア)、有孔ボード(左右サアクウォーターウインドウ)を取付けること。

3 電装関係

(1) バッテリーは、走行用及び特殊装備品の使用に対し、十分な容量を確保すること。

(2) 赤色警光灯等の特殊電装品の電源関係は、ACC以上で通電すること。

(3) 無線機の取付けについては、当消防本部の指示する車両から本車両へ移設(取付)することとし、その経費については受注者が負担する。

なお、取付け位置等の詳細については別途指示する。

(4) 最新型のETCを取り付け、セットアップを完了した状態で納車すること。

4 塗装および記入文字関係

(1) 外装は消防色(朱色)とし、ステンレス及びメッキ部分は塗装無しとすること。

(2) グリルは黒色塗装とすること。

- (3) 車両左右及び後部に笛吹市消防本部と記入し、その他の文字入れ箇所、デザイン等及び詳細については別途協議する。

第10 廃棄処分

- 1 受注者は既存車両（1台）の廃車手続を行い、速やかに解体等が行われたことの証明書を提出すること。

なお、当該経費については受注者が負担する。

- 2 廃車手続きの日程等については別途指示する。

第11 補則

- 1 受注者は、制作にあたりこの仕様内容に疑義が生じた場合、又は技術上の理由で仕様の変更を必要とする場合には軽微なものであっても、その都度、当消防本部と協議し打合せの上、指示を受けること。
- 2 車両取付け品等において同等以上の性能を有するもので対応する場合は、事前に当消防本部消防課担当者に性能資料等を提出し、承認を得ること。
- 3 本仕様で指示したもののほか、規格上必要な物品等はすべて付属させること。
- 4 その他、設計製作段階等で、疑義の生じた場合は当消防本部と協議すること。

別表 1

取付け品、取付け装置（1 台分）

番号	品名	摘要	数量
1	散光式警光灯	N X シリーズ	1 式
2	電子サイレンアンプ	T S K - D 1 5 1 （専用マイク付き）	1 式
3	L E D 式補助警光灯	フロント L P T - 2 （2 個） リア L P T - 2 （2 個）	1 式
4	L E D 作業灯	左右側面ルーフ L P C - 4 リアハッチ ウィレン M P B W	1 式
5	バッテリー	走行及び特殊装備品の使用に対し、十分な容量を確保すること。	1 式
6	エアコン		1 式
7	パワーステアリング		1 式
8	パワーウインドウ	運転席・助手席の開閉	1 式
9	集中ドアロック		1 式
1 0	エアバック		1 式
1 1	A B S		1 式
1 2	フォグライト		1 式
1 3	ナビゲーションシステム		1 式
1 4	ドアバイザー		1 式
1 5	プライバシーガラス	リアウインド全て	1 式
1 6	ドライブレコーダー	前後（後部はミラー型）	1 式
1 7	E T C		1 式
1 8	A V M タブレット用取付けステー	無線保守業者の指示する装備品	1 式
1 9	消防章		1 個
2 0	文字入れ	左右及び後部に「笛吹市消防本部」と記入	1 式

別表 2

積載品・付属品（1 台分）

番号	品名	摘要	数量
1	スペアタイヤ	ホイール付き	1 本
2	タイヤチェーン		1 組
3	ルーフキャリア		1 個
4	フロアマット	防水タイプ	全席
5	シートカバー	防水タイプ	全席
6	ラゲッジマット	防水タイプ	1 式
7	ルーフコンソール		1 式
8	クロスバー（固定式）	フロント・リア	1 式
9	標準工具		1 式
1 0	本車両鍵	キーレス	2 本